《ビルマ人の友人、ココラットさんからの mail です》

無言の殺人者

中国からビルマに、無言の殺人者がやってきています。現ビルマ政府が黙っているので、殺人者たちは、着々とビルマに住み着いています。

20年前、ビルマは無農薬の野菜や穀物、果実ばかりでした。20年前に軍政が中国との貿易を強化して、ビルマからは良質の天然資源が輸出され、中国からは、大量の安い物品や、農薬を多量に使用した食品、農薬自体が、輸入されるようになりました。現在ビルマでは、たとえば、バナナは、速く美しく熟すための薬品を溶かした液体につけられます。筍には、おいしそうに見える着色料が使われます。ビルマ人が最も食するガピ（魚の発酵食品）には、色がよくなるという理由から、化学肥料が混ぜ込まれます。チリソースにも、着色料が入れられます。野菜など食用作物の栽培には、きれいに大きく育てるための化学肥料が使われて、無農薬栽培ではなくなりました。

中国からは、また、質の悪い油で作られた菓子や、メラミンが混入した粉ミルクが入ってきます。ビルマ人は、よく、インスタントコーヒーに砂糖とミルクが一緒になったコーヒーミックスを利用します。このコーヒーミックスのミルクにも、メラミンが混じっています。これらの商品は安くて、他にないので、ビルマの人たちは毎日、子どもでも、こうしたものを口にします。このために、子どもまで、がんを発症するようになってきています。

なぜ、こうになってしまったか、といえば、危険な着色料や化学物質を食品に使用しないよう規制する法律がないからです。現ビルマ政府は、きちんとした調査や責任追及をしていません。中国のどのような会社からどんな物を輸入しているかを把握しないで、物品が国境をこえてきます。輸入品の調査・管理・把握も、現政府には行えていません。

ビルマは去年、世界でがん患者の多い国トップ10に入りました。

患者の４割は、がんを発症しやすい化学物質が含まれた食物を食べたので、がんになりました。

ココラット

2013年4月8日

http://www.facebook.com/home.php#!/ko.kolatt.10

みなさま、今年もビルマ難民キャンプのドキュメンタリーを作りました。タイトルは「私たちの明日」です。世界難民デーにあわせて６月８日京都から上映を開始します。予告編はこちらです。
http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=Foe3FTaqdOs